

国内製紙・日用品業界初

グリーンボンド発行について

大王製紙株式会社（住所：東京都千代田区）は、グリーンボンドを発行することといたしましたのでお知らせします。

グリーンボンドとは、国際資本市場協会（ICMA）が定めるグリーンボンド原則の要件を満たした社債であり、企業や地方自治体等が環境問題の解決に資する事業（グリーンプロジェクト）に用途を限定して資金を調達するために発行する債券を言います。

本グリーンボンドの発行は、国内製紙業界・日用品業界で初めての事例となります。

■大王製紙グリーンボンド

当社グループの経営理念「世界中の人々へ やさしい未来をつむぐ」には、事業活動を通じて世界中の人々への心豊かで快適な暮らしにつながる「やさしい未来」を提供したいとの想いをこめています。

この経営理念の実現に向け、「ものづくりへのこだわり」「地域社会とのきずな」「安全で働きがいのある企業風土」「地球環境への貢献」の4つの柱に重点を置き、グループ一丸となって取り組んでいます。

特に「地球環境への貢献」については、古紙の高度利用・バイオマスエネルギーの有効利用・省エネルギーの推進等、環境負荷低減に継続して取り組んでおり、地球環境と調和した事業活動を通じて、持続可能な循環型社会の形成に貢献することを目標としています。

本グリーンボンドでは、これらの経営理念・目標等に照らし、「難処理古紙（※1）の有効活用に関する設備」、及び「パルプ製造工程で発生する黒液（※2）を燃料とするバイオマスボイラーによる発電設備」をグリーンプロジェクトとして、調達資金を充当する予定です。

■グリーンボンド概要

- ◇発行額：100億円程度
- ◇年限：未定
- ◇発行時期：2018年10月を予定

◇グリーンプロジェクト : ①難処理古紙の有効活用に関する設備
②黒液を燃料とするバイオマスボイラーによる発電設備

◇主幹事証券会社 : 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
大和証券株式会社

◇グリーンボンド・ストラクチャリング・エージェント(※3) :
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

◇セカンドパーティオピニオン :

グリーンボンドとしての適格性について、第三者評価機関であるDNV GLビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より、セカンドパーティオピニオンを取得しております。

本グリーンボンドは、第三者評価の取得費用について、環境省の平成30年度グリーンボンド発行促進体制整備支援事業(※4)の補助金交付対象となっております。

なお、国内製造業では2例目のグリーンボンド発行となります。

■グリーンプロジェクト

①難処理古紙(※1)の有効活用に関する設備 / 総投資額 約160億円

当社三島工場が持つ強みのひとつである国内屈指の古紙の選別・パルプ化技術を活かし、難処理古紙を有効活用する設備を拡充します。今後、更にこの技術を磨き、板紙生産における難処理古紙の使用比率を約30%まで高めることを当面の目標としています。

【プロジェクト概要】

◎難処理古紙を段ボール原紙等の原料として再利用するための設備の新設、及び既存設備の改造を行います。

◎また、難処理古紙の再利用工程で発生するビニール等の付属物(廃棄物)を焼却し、その熱エネルギーを発電及び紙の製造工程に活用します。

◎これらのマテリアル/サーマルリサイクルを実施することで、以下の環境改善効果が見込まれます。

1) 廃棄物削減

これまで再利用困難であった難処理古紙の活用により、廃棄物が削減されます。

2) CO₂排出量の削減

焼却処分されたであろう難処理古紙を再利用することで、焼却時のCO₂が削減されます。

また、廃棄物由来の燃料を利用した発電により、化石燃料の使用量が削減されます。

②黒液(※2)を燃料とするバイオマスボイラー / 総投資額 約 210 億円(※5)

当社は、持続的成長に向けた基盤構築のため、第3次中期事業計画の中でFIT制度を活用したバイオマス発電の取組みを掲げています。

今後も当社グループでは、再生可能エネルギーの有効利用を通じて、環境負荷低減の取組みを継続していきます。

【プロジェクト概要】

- ◎パルプ製造工程で発生する黒液を燃料とするバイオマスボイラーを新設します。
- ◎新設するボイラーでは、バイオマス燃料である黒液を100%(※6)燃料とします。
- ◎このバイオマスボイラー稼働により、以下の環境改善効果が見込まれます。

1) CO₂ 排出量の削減

化石燃料を使用した発電と比較して、CO₂ 排出量が削減されます。

バイオマスボイラー完成予想図



本リリースは、当社の証券発行に関する情報を公表することを唯一の目的に作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘、又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

大王製紙株式会社 経営管理本部 財務部
井川・佐野
TEL : 03-6856-7515

- ※1：難処理古紙とは、未選別でビニール等が付属する古紙の中で、これまで再利用することが困難であったものを指し、当社が独自に定義づけているもの。
- ※2：木材チップをパルプ化する工程で発生する廃液(木の樹脂由来の成分)を濃縮したバイオマス燃料。
- ※3：グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドオピニオン取得に関する助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。
- ※4：グリーンボンドを発行しようとする企業や地方公共団体等への外部レビューの付与や、グリーンボンドフレームワーク整備のコンサルティング等により支援を行う登録発行支援者に対して、その支援に要する費用を補助する事業。対象となるグリーンボンドの要件は、調達した資金の全てがグリーンプロジェクトに充当されるものであって、かつ発行時点において以下の全てを満たすもの。
- (1)グリーンボンドの発行時点で以下のいずれかに該当すること
 - ①主に国内の低炭素化に資する事業（再エネ、省エネ等）
 - ・調達資金額の半分以上又は事業件数の半分以上が国内の低炭素化事業であるもの
 - ②低炭素化効果及び地域活性化効果が高い事業
 - ・低炭素化効果 国内のCO₂削減量1トン当たりの補助金額が一定以下であるもの
 - ・地域活性化効果 地方公共団体が定める条例・計画等において地域活性化に資するものとされる事業、地方公共団体等からの出資が見込まれる事業等
 - (2)グリーンボンドフレームワークがグリーンボンドガイドラインに準拠することについて、発行までの間に外部レビュー機関により確認されること
 - (3)いわゆる「グリーンウォッシュ債券」ではないこと
- ※5：投資総額 約 210 億円のうち、90 億円については、2015 年 9 月に発行したユーロ円建転換社債型新株予約権付社債による調達資金を充当。
- ※6：設備の起動・停止時にのみ、化石燃料を使用。